

令和6年度大野市スポーツ推進審議会(第2回会議録)

●日時 令和7年3月17日(月)午後7時～8時20分

●会場 エキサイト広場総合体育施設 2階会議室

●開会あいさつ(副会長)

みなさんから活発な意見をいただきながら充実した会議になるよう務めさせていただきたい。
忌憚のない意見を願います。

5 議事

(1)R6年度の事業報告等について

事務局から資料に基づき説明【資料1】【資料2】

<意見・質問等>

【事務局】

中学校グラウンドナイター設備については、陽明270人、上庄30人、尚徳90人になり回数になるともっと非常に少ない数となり、旧上庄中と旧尚徳中については、利用団体が3団体ほどあり、団体と話をさせていただき陽明中学校や奥越ふれあい公園などでの利用が可能ということであるため、旧上庄中・旧尚徳中ナイターについては令和7年度より利用休止とさせていただく。

【委員】

ナイター設備については、人ということだが回になると何回ぐらいになるのか。

【事務局】

回数にすると、4・5回ぐらいである。

【事務局】

和泉体育館については、合宿などでの利用があり主にフレアール和泉で宿泊されているが、耐震基準を満たしていないことから、旧上庄中体育館や旧尚徳中体育館を利用されるよう促している。中部縦貫自動車道を利用すれば時間的にも問題がない状況である。

【委員】

旧上庄中・旧尚徳中のナイター設備の利用休止は分かったが、グラウンドはどうなるのか。

【事務局】

グラウンドに関しては今までどおりである。旧尚徳中については、部活動の地域移行の軟式野球が利用している。電気料は利用しなくても、契約の関係でかなり高額となり負担が非常に大きいことから利用調整を行ったところである。

(2)大野市スポーツ推進計画の進捗状況について【資料3】

【委員】

成果指標の基準になるのがなぜ令和元年度なのか。比較をするのであれば前年度ではないか。

【事務局】

大野市第六次総合計画が令和2年度の令和3年2月に策定され、計画の成果指標が前年度の元年度の利用回数などを元にしたことから元年度の数字が基準の数字となっている。

指標のスポーツ指導者の新規取得者数は、令和4年度から始まった事業であるため空白になっており、またスポーツイベントの開催や誘致についても、令和元年度においては指標の対象になっていなかったことから空白となっている。

週1回以上スポーツをしている割合については、毎年アンケートを取っていないため空白となっている。

何かの計画に合わせて今後アンケートをとっていきたい。

括弧書きが令和5年度の数字になり、前年度との比較を行っている。

【委員】

スポーツ指導者公認資格の補助が始まったのは、何年度からか。

【事務局】

令和4年度からである。

【委員】

生涯学習課の派遣事業による回数を除いたとのことだったが、ちなみに派遣事業はどのくらいあったのか。

【事務局】

約70回程度であった。ちなみに内訳はスポーツ推進課が59回、各公民館で179回である。

【委員】

派遣事業を入れると令和5年度より多くなっているということでよいのか。

【事務局】

派遣事業を入れると令和5年度より多くなる。

(3) 令和7年度当初予算の基本方針、主な事業等について【資料4】【資料5】

【事務局】

名水マラソンについての歳入が増えているが、これは第61回大会からの参加料の見直しを行ったことによるものである。市民の方は基本的に値段は変わらないが、10 km、ハーフの部門などが少し高くなっている。

市外参加者については、駐車場などの経費が増えてきていることから最大 1,500 円上げている。名水マラソンの参加料を値上げしたが、2月末のエントリー数は昨年度と比較すると、100件程度多くなっている状況である。

【委員】

歳入が増えているのは分かったが、歳出が昨年と比べると減っているがどうか。

昨年は市制施行70周年記念第60回の記念大会であったことから、ゲストラナーに野口みずきさんをお招きしたり記念イベント等の関係で少し予算を高くしていたが、例年に戻したということある。今年度については、沿道の花の彩り運動のプランターを地区住民の負担軽減などから廃止にしたり、JA福井県から10位までの副賞があるため、表彰のトロフィーを1位から3位までにするなど見直しを行い、経費の削減を行っている。ただ大会が寂しくならないようおもてなし等はしっかりとしていきたいと考えている。

【事務局】

前回の会議で、スポーツ教室の周知ということで口コミが大きいとの話が出たが、市民の方に幅広く情報提供するということで、その他に公民館やスポーツ推進課が行っている行事についてホームページでどこの公民館がどのような教室をいつやるのかをひと目で分かるようなものを昨年作成した。

【委員】

スポーツ教室は誰をターゲットにした教室か。

【事務局】

教室については、全市民を対象とし、子ども、一般、高齢者に分け、年齢に応じた教室を開催している。

【委員】

名水マラソンのオリジナルTシャツの販売とあるが、収益的にはどんな感じか。個人的な意見であるがデザインがいまいちで売れるのかなといった印象である。名水マラソン時以外で着用している人を見たことがないため作る意味があるのか何を目的として販売しているのかが見えてこない。

【事務局】

基本的に事業者さんに販売してもらっており、名水マラソン実行委員会としては、プラスマイナスはない。

他の大会などを見ていると、記念大会ということで市民の方の購入は少ないが、市外の方は記念でTシャツを購入するということを聞いており、少しでも収益にならないかと相談の上、地元の業者と行っている。デザインについては、昨年度は記念大会ということで、地元のデザイナーの方に大

野らしいイメージでデザインしていただいた。61回大会については、デザインの部分についても事業者にお願ひし販売していただくことになっている。

少しでも地元の事業者にお金を儲けていただき、市外の方に記念のものを渡したいということで今年もお願ひしているところである。

【委員】

スポーツ教室だが、高齢者だと口こみが効果的ではあるが、例えば子ども向けの教室を行う際に公民館のホームページはなかなか見ない。

SNSの活用などまだまだ周知の方法はあるのではないか。

【事務局】

子ども対象の教室に関しては、学校にチラシを配っている。また市のラインを使い周知を行っている。

エキサイト広場の利用については、夏季・冬期間のランニングコースの無料開放などに伴い、利用数が増えている。トレーニングルームについても、器具の充実を図るなどし利用数が増えている。特に高校生の利用が増えている。

【委員】

資料1の生涯スポーツ推進事業の中の教室について、もう少し内容が分かるようにしていただきたい。

【事務局】

次回から別紙になるが細かい内訳をつけるようにする。今年だと、女性に人気があるピラティス講座や、初心者向けのトレーニング機器の使い方講座、eスポーツ体験など行った。来年度についても、利用者の声を聞きながら感心の高い教室を企画していきたいと考えている。

【委員】

エキサイト広場総合体育施設の予算の中で、明治公園のテニスコートの修理などの予算は含まれているのか。

【事務局】

令和7年度の予算では、明治公園テニスコートの照明の修繕は含まれていない。

エキサイトでいうと、現在アリーナ(体育館)のみがLEDになっているが、3月議会で新年度の予算が認められれば、その他についてもLEDにしていく予定である。

明治公園については、8年度に向けて検討していくことになってる。

【委員】

令和9年度までにLED化に全部変えないといけないということだが、照明など変えていくということ

か。

【事務局】

大野市全体の施設に関してLED化にしていかなければいけない。

順番があるため、来年度はエキサイト広場をはじめ、結とぴあやあっ宝んどなどの照明を変えていく予算案を提出している。

【事務局】

大野市全体で使用料の見直しを行っている。今までエキサイト広場をはじめとした施設は利用時間区分ごとになっていた使用料を1時間当たりの金額とする。

エキサイト広場を例にあげると、普段の練習でアリーナ半面の使用料は現行とあまり変わらないが、大会等での利用になると、ご負担をいただくことになる。大野市のスポーツ協会加盟団体については減免規定があるため、負担の割合は低くなる。

条例が通れば、7月1日から見直しを行い、新料金となり、また、市外の減免規定についても見直しを行う予定である。

ナイター使用料については、ナイター料金を1時間 1,500 円を1時間 2,000 円に見直しをかけている。高校生以下の利用についてはナイターは減免が適用されるため、今までより安くなる。そのため、部活動の地域移行の団体がナイターを利用しても子どもの負担が減るような見直し案を出している。

議会が通れば、7月1日より新料金となる。この料金改定案については、各関係団体などから出ていただいた委員に意見をいただき、使用料・手数料にかかる受益者負担の算定方基準を策定し、算定方法基準をもとに使用料の見直しを行っている。

エキサイト広場体育館の使用料など、大野市の使用料については、他市と比べると安い料金設定をしていたというのが実情がある。施設によっては、1時間単位の料金設定になるため、使用料が安くなることもある。また学校体育開放事業では、終了時間を9時30分から10時まで延長したり、真名川のナイター施設やふれあい公園の多目的広場のナイターについても10月末までを11月末までの利用に延ばし、利用者の利便向上を図っていく。

次の会議において、主要な体育施設の使用料について資料を提供させていただく。

【委員】

施設の廃止後、建物はどうするのか。

【事務局】

和泉体育館については、時期を見て解体していく。和泉グラウンドについては草刈などの管理はしていく。広い土地であるので土地の活用を考えていきたい。

【委員】

全国大会の出場補助だが、小中学校が行う補助と、小中学校が行う教育活動以外に分かれているが、部活動の地域移行が進む中、教育活動以外の補助件数が増えてくると思うが、ぜひ予算の配分の見直しをお願いしたい。

また補助金の手続きが、複雑で煩雑なため、簡略化してほしい。

【事務局】

予算に達してしまえば、後は補助が出ないということはない。予算が足りなくなった場合は、補正などで対応を行っている。

また、大野市の補助制度は、近隣の市町村と比べて低くはなく、条件にもよるが手厚くなっている。教育委員会からの補助状況を確認し、8年度の予算要求をしていきたい。手続きについては、他市の状況を見ながら、簡単にできるものについては簡単にしていきたい。

【事務局】

将来的に、使用しない体育施設を廃止し、その予算を、利用している体育館に使っていきたいと考えているが、そういう方向制でよいか意見を伺いたい。

【委員】

利用する人は少ないかもしれないが、利用している団体には話を聞き、調整を行い進めていってほしい。

阪谷地区だが、市内まで出てくるのが遠い。学校はなくなってしまうが、体育館を少しでも使いたいという人がいれば話をしていただき進めていただきたい。

【事務局】

利用者の意見を聞きながら進めている。今後もしっかり利用者の意見や思いを確認の上、進めていくようにしたい。

3 閉会あいさつ(健康福祉部長)

慎重にご審議いただきありがとうございました。いろんな年代の方に少しでもスポーツに親しんでもらえるよう新しい教室を企画している。また皆様の方からもご意見がありましたらスポーツ推進課までお願いします。

使用料改定の議案が通りましたら7月から使用料の改定が行われ、スポーツ推進課所管のすべての施設が対象になる。市民の皆様には丁寧に説明をしていきたいと思いますのでその際はよろしくをお願いします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。